

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号
特開2005-73799
(P2005-73799A)

(43) 公開日 平成17年3月24日(2005.3.24)

(51) Int.Cl. ⁷	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 B 19/00	A 6 1 B 19/00 5 0 2	4 C 0 6 0
A 6 1 B 1/04	A 6 1 B 1/04 3 7 0	4 C 0 6 1
A 6 1 B 18/00	A 6 1 B 17/36 3 3 0	
A 6 1 B 18/12	A 6 1 B 17/39	

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号	特願2003-305574 (P2003-305574)	(71) 出願人	000000376 オリンパス株式会社 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号
(22) 出願日	平成15年8月28日 (2003.8.28)	(74) 代理人	100076233 弁理士 伊藤 進
		(72) 発明者	本田 吉隆 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オ リンパス光学工業株式会社内
		(72) 発明者	小野 寛生 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オ リンパス光学工業株式会社内
		(72) 発明者	田中 一恵 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オ リンパス光学工業株式会社内
		Fターム(参考)	4C060 EE03 JJ12 KK02
			最終頁に続く

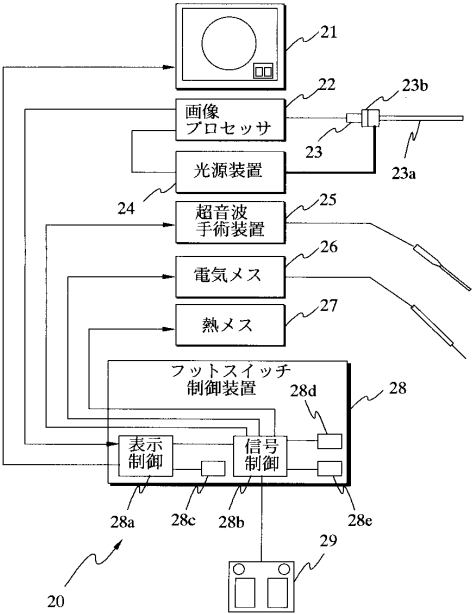
(54) 【発明の名称】 スイッチ制御装置

(57) 【要約】

【課題】 手術時に内視鏡画像を観察するのに邪魔にならず、且つ必要な時にフットスイッチやハンドスイッチ等のスイッチ手段に割り当てられた機能を確認する。

【解決手段】 カメラヘッド23から取り込まれ画像プロセッサ22から出力された画像信号は、フットスイッチ制御装置28に入力される。前記画像信号はフットスイッチ制御装置28の表示制御部28aにおいて処理され、ディスプレイ21へ入力されて表示される。前記表示制御部28aでは、入力された内視鏡画像に現在割り付けられているフットスイッチ機能に対応したフットスイッチ状態を示す画像を記憶部28cから読み出して、内視鏡画像に重畳する処理を行う。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体像を撮像する撮像装置からの画像信号を受信する画像受信部と、
医療器具と前記医療器具を操作するスイッチとの割り付け状態を切り替える切替スイッチからの切替信号を受信する切替信号受信部と、
前記切替信号受信部にて前記切替信号を受信した際に、前記被写体像と前記操作スイッチの情報とを重ね合わせて表示する画像信号を合成する画像合成部と
を備えたことを特徴とするスイッチ制御装置。

【請求項 2】

前記切替信号により、前記操作スイッチに操作対象となる医療器具を割り付ける操作割付部と、
前記切替信号を受信した後に、経過時間の計測を開始する経過時間計測部と、
前記経過時間が所定の時間内に、前記操作スイッチからの操作信号を受信したかどうかを判定する経過時間判定部と、
前記経過時間判定部において所定の時間が経過した場合に、前記操作スイッチの割り付けを所定の状態に戻す操作割付解除部と
を有することを特徴とする請求項 1 に記載のスイッチ制御装置。 10

【請求項 3】

前記切替信号を受信し、所定の時間が経過した後に前記画像合成部の合成処理を解除する合成解除部
を有することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のスイッチ制御装置。 20

【請求項 4】

前記切替信号により、前記操作スイッチに操作対象となる医療器具を割り付ける操作割付部と、
前記切替信号を受信した後に、経過時間の計測を開始する経過時間計測部と、
前記経過時間が所定の時間内に、前記操作スイッチからの操作信号を受信したかどうかを判定する経過時間判定部と、
前記経過時間判定部において所定の時間が経過し、且つ前記操作スイッチより操作信号を受信した際に、前記被写体像と前記操作スイッチの情報とを重ね合わせて表示する画像信号を再合成する再合成部と
を有することを特徴とする請求項 1 に記載のスイッチ制御装置。 30

【請求項 5】

前記切替信号は、操作スイッチの有効もしくは無効を切り替える情報を含み、
前記合成手段もしくは再合成手段は、無効が設定された操作スイッチより操作信号を受信した際に、前記被写体像と前記操作スイッチが無効であることを示す情報を重ね合わせて表示する画像信号を合成する
ことを特徴とする請求項 1 または 4 に記載のスイッチ制御装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、複数の医療装置を制御するスイッチの機能を制御するスイッチ制御装置に関する。 40

【背景技術】

【0002】

従来、例えば特開 2002-306504 号公報に開示されているように、1 つのフットスイッチを用いて複数の外科手術装置が操作出来る外科手術システムが知られている。また、前記外科手術システムにおいて、例えば特開平 11-318916 号公報に開示されているようにフットスイッチの各機能ペダルに割り付けたスイッチ機能を内視鏡画像に重畳して表示する表示手段を備えた外科手術システムも知られている。

【0003】

前記外科手術システムの一例を図20に示す。外科手術システム101は、ディスプレイ102、画像プロセッサ103、カメラヘッド104、光源105、超音波手術装置106、電気メス107、フットスイッチ制御装置108、フットスイッチ109で構成される。また、フットスイッチ109は、図21に示すように第1機能スイッチ109a、第2機能スイッチ109b及び選択スイッチ109cを備えて構成される。

【0004】

超音波手術装置106及び電気メス107を制御するフットスイッチ109のフットスイッチ信号は、フットスイッチ信号制御部108bを経由して送信される。前記フットスイッチ信号制御部108bは、図21に示すフットスイッチ109の選択スイッチ109cまたは図示しない他の選択スイッチによって設定された出力機器設定に応じて切替えられ、フットスイッチ109の各ペダルの押し下げ信号を超音波手術装置106の最大出力/設定出力、電気メス107のモノポーラ/バイポーラ、切開/凝固のいずれかを示す信号を該当する機器に出力する。

【0005】

画像プロセッサ103の出力する画像信号は、フットスイッチ制御装置108の表示制御部108aを経由してディスプレイ102に入力され、内視鏡画像が表示される。前記表示制御部108aは、入力された内視鏡画像にフットスイッチ109の状態を示すフットスイッチ状態表示画像を重畳する。フットスイッチ状態表示画像は、例えば、画面の右隅に位置し、図22及び図23に示すように、フットスイッチの配列、各ペダルに対応する機能、各ペダルのオン/オフ状態を表す。フットスイッチオフの時には、図22に示すようにフットスイッチペダルは塗り潰されていない矩形で表示され、フットスイッチオンの時には、図23に示すようにペダルを示す矩形が所定の色で塗り潰し表示される。また、フットスイッチ状態の表示は、所定の色で表示されたスイッチ画像の反転・非反転によって表示することもある。

【0006】

手術中にフットスイッチ状態表示画像を表示していると内視鏡画像を観察する邪魔になる場合があるため、フットスイッチ状態表示画像を表示しないことも可能である。この時、フットスイッチ109の各ペダルに割り当てられた機能は、フットスイッチ制御装置108に設けられたパネルの表示によって確認することができる。

【0007】

さらに、例えば特開2001-314411号公報に開示されているように、単一乃至複数の外科手術装置に対して2つ以上のフットスイッチを接続し、いずれのフットスイッチによっても操作可能にした外科手術装置も知られている。

【特許文献1】特開2002-306504号公報

【特許文献2】特開平11-318916号公報

【特許文献3】特開2001-314411号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0008】

従来の医療システム制御装置においては、フットスイッチ機能表示画像は、常に内視鏡画像に重畳して表示するか、常に重畳表示しないかのどちらかであった。手術を実施するにあたって、フットスイッチ機能表示画像を表示して手術の邪魔になることを避けるため、フットスイッチ機能表示をオフにした場合は、手術中に現在選択されているフットスイッチ機能がどれか分からなくなってしまう、意図しないハンドピースから出力してしまう危険があった。この場合、フットスイッチの機能割付けを医療システム制御装置のパネルに表示するようにすれば、現在のフットスイッチ機能割付け状態の確認を随時行えるが、術者が術野から目を離して医療システム制御装置のパネルを見る必要があり、使い勝手が悪くなる。

【0009】

また、複数のフットスイッチを接続した場合、従来は一方のフットスイッチだけを無効

にすることができなかった。従って、複数のフットスイッチを接続しているものの実際には使用しないフットスイッチがある場合に、手術装置を操作していない人が誤ってフットスイッチを押して動作させてしまう可能性があった。

【0010】

本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、手術時に内視鏡画像を観察するのに邪魔にならず、且つ必要な時にフットスイッチやハンドスイッチ等のスイッチ手段に割り当てられた機能を確認することのできるスイッチ制御装置を提供することを目的としている。

【課題を解決するための手段】

【0011】

本発明のスイッチ制御装置は、被写体像を撮像する撮像装置からの画像信号を受信する画像受信部と、医療器具と前記医療器具を操作するスイッチとの割り付け状態を切り替える切替スイッチからの切替信号を受信する切替信号受信部と、前記切替信号受信部にて前記切替信号を受信した際に、前記被写体像と前記操作スイッチの情報とを重ね合わせて表示する画像信号を合成する画像合成部とを備えて構成される。

【発明の効果】

【0012】

本発明によれば、手術時に内視鏡画像を観察するのに邪魔にならず、且つ必要な時にフットスイッチやハンドスイッチ等のスイッチ手段に割り当てられた機能を確認することができるという効果がある。

【発明を実施するための最良の形態】

【0013】

以下、図面を参照しながら本発明の実施例について述べる。

【実施例1】

【0014】

図1ないし図10は本発明の実施例1に係わり、図1は医療システムの構成を示す構成図、図2は図1のフットスイッチの構成を示す構成図、図3は図1のディスプレイに表示される画像を示す第1の図、図4は図1のディスプレイに表示される画像を示す第2の図、図5は図1のフットスイッチ制御装置の作用を説明する第1のフローチャート、図6は図5の処理を説明する図、図7は図1のフットスイッチ制御装置の作用を説明する第2のフローチャート、図8は図1のディスプレイに表示される画像を示す第3の図、図9は図1のフットスイッチ制御装置の作用を説明する第3のフローチャート、図10は図1のフットスイッチ制御装置の作用を説明する第4のフローチャートである。

【0015】

図1に示すように、本実施例の医療システム20は、ディスプレイ21、画像プロセッサ22、カメラヘッド23、光源装置24、超音波手術装置25、電気メス26、熱メス27、フットスイッチ制御装置28、フットスイッチ29を備えて構成され、光源装置24は内視鏡23aに照明光を供給しカメラヘッド23は内視鏡23aの接眼部23bに着脱自在に接続されて、内視鏡像を撮像して撮像信号を画像プロセッサ22に出力する。

【0016】

カメラヘッド23から取り込まれ画像プロセッサ22から出力された画像信号は、フットスイッチ制御装置28に入力される。更に前記画像信号はフットスイッチ制御装置28の表示制御部28aにおいて処理され、ディスプレイ21へ入力されて表示される。前記表示制御部28aでは、入力された内視鏡画像に現在割り付けられているフットスイッチ機能に対応したフットスイッチ状態を示す画像を記憶部28cから読み出して、内視鏡画像に重畳する処理を行う。

【0017】

フットスイッチ29は、図2に示すように第1機能スイッチ29a、第2機能スイッチ29b、選択スイッチ29c及びフットスイッチ状態表示トグルスイッチ29dを備えて構成される。

10

20

30

40

50

【0018】

図3及び図4は内視鏡画像50の右下隅にフットスイッチ29の状態を示すフットスイッチ状態表示画像51を重畳したものである。フットスイッチ状態表示画像51の上部またはペダル上には、現在割り当てられている機能を示す表示がされている（例えば、電気メスを示す「ESU」、超音波手術装置を示す「US」等）。

【0019】

またフットスイッチ29の機能スイッチがオンされている場合、例えば第2機能スイッチ29bがオンされている場合、図4のように前記第2機能スイッチ29bに対応するフットスイッチ状態表示画像51をフットスイッチ信号オンを示す表示に変更する（矩形の塗りつぶしや、色反転等）。

10

【0020】

また図5のフローに従って、フットスイッチ制御装置28のフットスイッチ信号制御部28bが、術者がフットスイッチ29の選択スイッチ29cを押したことを検出する（ステップS1）と、フットスイッチ29の各ペダルに割り当てた機能を、選択スイッチ29cが押される度に図6に示すように記憶部28eに記憶された組み合わせに変更する（ステップS2）。

【0021】

この時、前記フットスイッチ信号制御部28bはフットスイッチの各機能スイッチ29a、29bのオン／オフ信号が超音波手術装置25、電気メス26、熱メス27のいずれに出力されるか決定するために信号接続を切替えるとともに、表示制御部28aに新しく選択された状態を通知する。前記表示制御部28aは、記憶部28dに記憶されたフットスイッチ状態表示に従って重畳するフットスイッチ状態表示画像51を生成し、新たなフットスイッチ機能に対応する表示に切替える。

20

【0022】

さらに、本実施例の医療システム制御装置1においては、図7に示すフローに従ってユーザが前記フットスイッチ状態表示画像の表示の有無を容易に切替えられる。例えばフットスイッチ状態表示画像51が重畳された状態で、フットスイッチ状態表示トグルスイッチ29dが押される（ステップS11）と、フットスイッチ状態表示をオフになり（ステップS12）、図8に示すように内視鏡画像50にはフットスイッチ状態表示画像51は重畳されない状態となる。

30

【0023】

すなわち、フットスイッチ状態表示がオンの時に、フットスイッチ制御装置28のフロントパネルまたは図6に示すフットスイッチ29のフットスイッチ状態表示トグルスイッチ29dを押したことをフットスイッチ制御部28bが検出し、フットスイッチ状態表示切替信号を表示制御部28aに通知すると、表示制御部28aは図8に示すようにスイッチ状態表示をオフにする。

【0024】

再度フットスイッチ状態表示トグルスイッチ29dを押したことが通知されると、図3に示したようにフットスイッチ状態表示をオンにする。また、フットスイッチ状態表示がオンの時にフットスイッチの第1機能スイッチ29aあるいは第2機能スイッチ29bが踏まれると、図4に示したようにフットスイッチ状態表示の該当する機能スイッチアイコンの表示を、機能スイッチオンを示す表示（反転、塗りつぶし等）に変更する。

40

【0025】

この場合、フットスイッチ状態表示がオフの時にフットスイッチ機能が切替えられると、ユーザは新しく割り付けられた機能を確認することができない。そのため、フットスイッチ29の第1機能スイッチ29a、第2機能スイッチ29bのいずれかが踏まれた時は、図9に示すフローに従って一時的にフットスイッチ状態表示をオンにする。

【0026】

すなわち、フットスイッチ制御部28bによって選択スイッチ29cが押されたことを検知する（ステップS21）と、フットスイッチ機能を切替える（ステップS22）。現

50

在のフットスイッチ状態表示がオフの場合（ステップS23）は表示制御部28aに通知し、フットスイッチ状態表示をオンにする（ステップS24）。更に所定の時間経過後（ステップS25）、フットスイッチ制御部28bは表示制御部28aにフットスイッチ状態表示をオフにする指示を送信する（ステップS26）。現在のフットスイッチ状態表示がオンの場合（ステップS23）は、FSW状態表示内容を更新し表示し（ステップS27）、その後ステップS25に進む。

【0027】

選択スイッチ29cにより機能スイッチが切り替えられた際に、スイッチ状態を表示する（表示機能がOFFの場合は、ONに変更して表示する）。次に、一定時間経過後、スイッチ表示状態をオフにする。選択スイッチ29cにより機能が切り替えられた後に一定時間が経過した後、最初に第1機能スイッチ29a、第2機能スイッチ29bのいずれかが踏まれた場合には、機能スイッチに割りついている機能を実行せずに、スイッチ状態を表示し、次の機能スイッチが踏まれた段階で、機能スイッチに割りついている機能を実行する。

10

【0028】

また、図21に示した従来用いていたフットスイッチ109を使用する場合にも同じようにフットスイッチ状態表示を切替えることも可能である。そのフローを図10に示す。

【0029】

すなわち、フットスイッチ109の選択スイッチ109cが押されたことを検知する（ステップS31）と、フットスイッチ制御部28bはタイマを用いてカウントを開始する（ステップS32）。所定の時間t1が経過するまで選択スイッチ109cが押されていた場合（ステップS33）、所定の時間t2の間フットスイッチ状態表示を切り替える（ステップS34～S37）。所定の時間t1が経過する前に選択スイッチ109cが離されていた場合はフットスイッチ109の各ペダルに割り当てた機能を図6に従って変更する（ステップS38）。

20

【0030】

なお、フットスイッチ29の各機能スイッチに割り付ける機能及びその切り替え順序は図6に示した組み合わせに限られない。また、前記フットスイッチ制御装置28が接続された装置を検知して対応する機器が接続されていない場合は該当するフットスイッチ機能の組み合わせ割り付けないようにすることも可能である。それ以外にも、ユーザが予めフットスイッチの各機能ペダルに割り付けるフットスイッチ機能の組み合わせを少なくとも1つ以上定義して、前記フットスイッチ制御装置28に登録して使用することも可能である。

30

【0031】

本実施例によれば、医療システム制御装置を使用中にフットスイッチ状態表示を適宜オン／オフして使用することが出来る。また、フットスイッチに割り当てた機能を'随時確認出来るため、フットスイッチに状態表示をオフにしている場合もフットスイッチ機能の割り付けがわからなくなって困ることがない。

【実施例2】

【0032】

図11ないし図13は本発明の実施例2に係わり、図11は医療システムの構成を示す構成図、図12は図11のフットスイッチ制御装置の作用を説明するフローチャート、図13は図11のディスプレイに表示される画像を示す図である。

40

【0033】

実施例2は、実施例1とほとんど同じであるので、異なる点のみ説明し、同一の構成には同じ符号をつけ説明は省略する。

【0034】

本実施例のフットスイッチ制御装置28は、図11に示すように、表示制御部28a、フットスイッチ信号制御部28bの他にタイマ31c及び音声出力部31dを有する。

【0035】

50

図12に示すように、フットスイッチ29の選択スイッチ29cが踏まれる（ステップS41）と、フットスイッチ制御部28がフットスイッチ機能の割り当てを切替え（ステップS42）、表示制御部28aの出力するフットスイッチ状態表示画像51が切替わるとともに、前記タイマ31cに信号が入力され、カウントを開始する。

【0036】

そして、所定の時間、例えば10秒が経過する前にフットスイッチ29の第1機能スイッチ29a乃至29bの入力があればタイマ31cはリセットされる（ステップS43～S47）。タイマ31cがリセットされないまま所定の時間、例えば10秒が経過すると、図13に示すように、タイマ31cからフットスイッチ信号制御部28bに時間超過信号が出力され、フットスイッチ機能の割り当て、及びフットスイッチ状態表示が初期状態に切替えられる（ステップS48）。 10

【0037】

所定の時間、例えば10秒が経過してフットスイッチ機能の割付を変更した時に、フットスイッチ状態表示がオフになっている場合に実施例1と同様に所定の時間フットスイッチ状態表示をオンにした後再度オフとすることで、フットスイッチ機能の割付が変更されたことをユーザに通知してもよい。また同じ場合においてフットスイッチ機能の割付が変更されたことを音声出力部31dから音声を出力してユーザに通知してもよい。

【0038】

本実施例によれば、一定の時間使用しない場合はフットスイッチ機能の割付が初期状態に戻っているため、ユーザがどの状態に切替えたか思い出す必要がなくなり、操作が分かりやすくなる。 20

【実施例3】

【0039】

図14は本発明の実施例3に係るフットスイッチ制御装置の構成を示す構成図である。

【0040】

実施例3は、実施例2とほとんど同じであるので、異なる点のみ説明し、同一の構成には同じ符号をつけ説明は省略する。

【0041】

図14に示すように、本実施例のフットスイッチ制御装置28は、表示制御部61、CPU62、記憶部63、切替部64、音声出力部65を有する。 30

【0042】

フットスイッチ29の機能スイッチ29a、29bが踏まれると、機能スイッチ信号がCPU62及び切替部64に入力され、その時点のフットスイッチ機能割付に従ってフットスイッチ制御装置28に接続された超音波手術装置25もしくは電気メス26に出力される。

【0043】

また、フットスイッチ29の選択スイッチ29a、29bが踏まれると、CPU62は選択スイッチ信号を検知して記憶部63に記憶されたフットスイッチ機能割付けテーブルに従って切替部64を制御し、フットスイッチ29の各機能スイッチ29a、29bに対する機能の割付を変更する。また、フットスイッチ機能の割付が変更されたことを示すフットスイッチ機能信号を表示制御部61に出力してフットスイッチ状態表示を変更する。併せて音声出力部65に音声出力指示信号を出力して、音声によりユーザにフットスイッチ機能割付が変更されたことを通知してもよい。 40

【0044】

また、選択スイッチ信号を検知するとCPU62はタイマ変数を初期化し、一定時間毎にカウントを行う。前記カウントが所定のカウント数に達する前に選択スイッチ信号または機能スイッチ信号が入力された場合は前記タイマ変数を初期化して再度カウントを開始する。選択スイッチ信号または機能スイッチ信号が入力されないまま所定のカウント数に達した時、前記CPU62は記憶手段53に設定された初期状態にフットスイッチ機能割付を設定するために切替部64を制御し、表示制御部61にフットスイッチ機能信号を 50

出力する。この時、音声出力部 65 に音声出力指示信号を出力して、音声によりユーザにフットスイッチ機能割付が初期状態に変更されたことを通知してもよい。

【0045】

本実施例によれば、実施例 2 と同等の効果をソフトウェアにて実現することが可能である。

【実施例 4】

【0046】

図 15 ないし図 19 は本発明の実施例 4 に係わり、図 15 は医療システムの構成を示す構成図、図 16 は図 15 のフットスイッチ制御装置の作用を説明するフローチャート、図 17 は図 15 のディスプレイに表示される画像を示す第 1 の図、図 18 は図 15 のディスプレイに表示される画像を示す第 2 の図、図 19 は図 15 のディスプレイに表示される画像を示す第 3 の図である。

10

【0047】

実施例 4 は、実施例 1 及び 2 とほとんど同じであるので、異なる点のみ説明し、同一の構成には同じ符号をつけ説明は省略する。

【0048】

図 15 に示すように、本実施例のフットスイッチ制御装置 28 には、フットスイッチ 71 及びフットスイッチ 72 が接続される。

【0049】

フットスイッチ 71 及びフットスイッチ 72 は 1 つ以上の機能スイッチと選択スイッチで構成され、例えば、手術台 73 の左右で異なる術者がそれぞれ使用できる。フットスイッチ 71 及びフットスイッチ 72 の区別はフットスイッチが ID を有してもよいし、フットスイッチ制御装置 28 のどのコネクタに接続されているかによって区別してもよい。

20

【0050】

図 16 に示すフローに従って所定の時間 t_3 以上選択スイッチ 29c を押した場合（ステップ S51～S52）、そのスイッチの有効、無効を切替える（ステップ S53～S55）。フットスイッチの有効/無効を切り替えた時は、ユーザ通知イベントとして、図 17 ないし図 19 に示すように、フットスイッチ制御装置 28 の表示制御部 28a が内視鏡画像に重畳して出力する現在有効なフットスイッチのフットスイッチ状態表示の変更、または音声出力による通知、フットスイッチ制御装置 28 のパネル上の表示による通知または前記いずれかの通知方法の組み合わせによりフットスイッチの有効/無効が切り替わったことをユーザに通知する（ステップ S56）。

30

【0051】

また、選択スイッチ 29c を所定時間 t_3 以下でしか押さなかった場合、フットスイッチに割り当てられてスイッチの機能の割り当て直す処理を行う（ステップ S57）。

【0052】

無効にされているフットスイッチが踏まれた場合、フットスイッチ制御装置 28 はフットスイッチ信号を医療装置に出力しない。また、音声などの手段でユーザに無効なフットスイッチが踏まれたことを通知してもよい。

【0053】

本実施例によれば、複数のフットスイッチを用いて 1 人以上の術者が同時に手術を行えるだけでなく、使用していないフットスイッチは無効とすることが出来るため、誤って出力する可能性が小さくなり、装置の使い勝手が向上する。

40

【0054】

本発明は、上述した実施例に限定されるものではなく、本発明の要旨を変えない範囲において、種々の変更、改変等が可能である。

【図面の簡単な説明】

【0055】

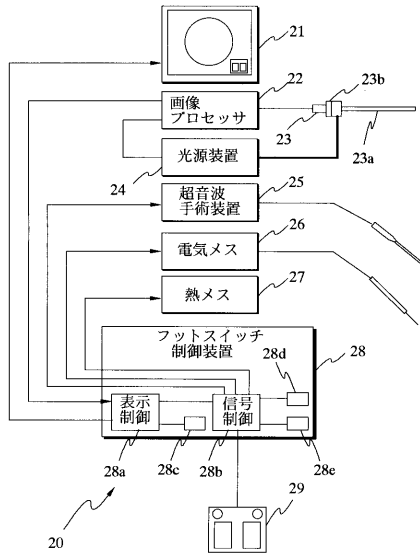
【図 1】 本発明の実施例 1 に係る医療システムの構成を示す構成図

【図 2】 図 1 のフットスイッチの構成を示す構成図

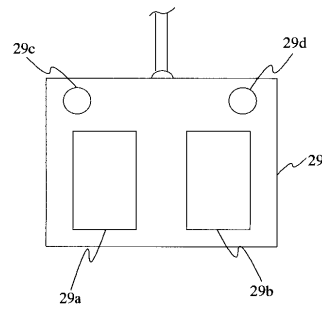
50

【図 3】 図 1 のディスプレイに表示される画像を示す第 1 の図	
【図 4】 図 1 のディスプレイに表示される画像を示す第 2 の図	
【図 5】 図 1 のフットスイッチ制御装置の作用を説明する第 1 のフローチャート	
【図 6】 図 5 の処理を説明する図	
【図 7】 図 1 のフットスイッチ制御装置の作用を説明する第 2 のフローチャート	
【図 8】 図 1 のディスプレイに表示される画像を示す第 3 の図	
【図 9】 図 1 のフットスイッチ制御装置の作用を説明する第 3 のフローチャート	
【図 10】 図 1 のフットスイッチ制御装置の作用を説明する第 4 のフローチャート	
【図 11】 本発明の実施例 2 に係る医療システムの構成を示す構成図	
【図 12】 図 11 のフットスイッチ制御装置の作用を説明するフローチャート	10
【図 13】 図 11 のディスプレイに表示される画像を示す図	
【図 14】 本発明の実施例 3 に係るフットスイッチ制御装置の構成を示す構成図	
【図 15】 本発明の実施例 4 に係る医療システムの構成を示す構成図	
【図 16】 図 15 のフットスイッチ制御装置の作用を説明するフローチャート	
【図 17】 図 15 のディスプレイに表示される画像を示す第 1 の図	
【図 18】 図 15 のディスプレイに表示される画像を示す第 2 の図	
【図 19】 図 15 のディスプレイに表示される画像を示す第 3 の図	
【図 20】 従来 of 外科手術システムの構成を示す構成図	
【図 21】 図 20 のフットスイッチの構成を示す構成図	
【図 22】 図 20 のディスプレイに表示される画像を示す第 1 の図	20
【図 23】 図 20 のディスプレイに表示される画像を示す第 2 の図	
【符号の説明】	
【0056】	
20 … 医療システム	
21 … ディスプレイ	
22 … 画像プロセッサ 22	
23 … カメラヘッド	
24 … 光源装置	
25 … 超音波手術装置	
26 … 電気メス	30
27 … 熱メス	
28 … フットスイッチ制御装置	
28 a … 表示制御部	
28 b … フットスイッチ信号制御部	
28 c、28 d、28 e … 記憶部	
29 … フットスイッチ	
29 a … 第 1 機能スイッチ	
29 b … 第 2 機能スイッチ	
29 c … 選択スイッチ	
29 d … フットスイッチ状態表示トグルスイッチ	40
代理人 弁理士 伊藤 進	

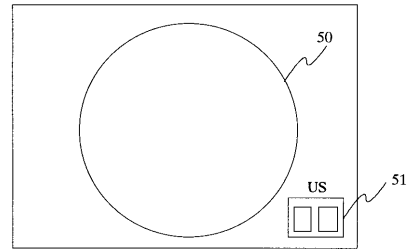
【図 1】



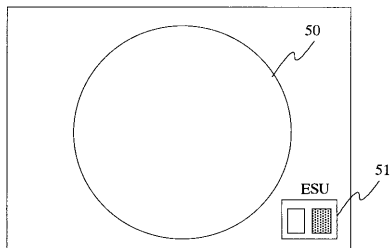
【図 2】



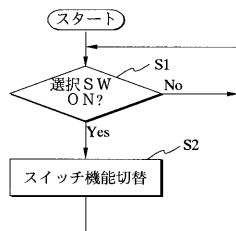
【図 3】



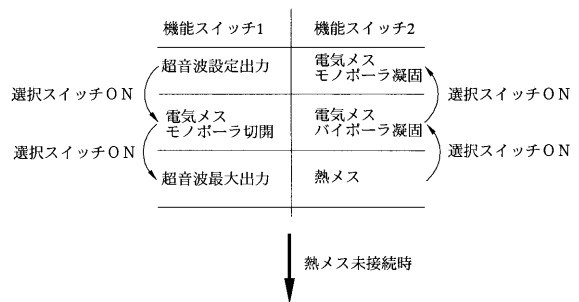
【図 4】



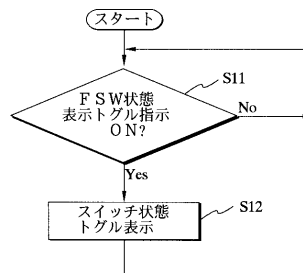
【図 5】



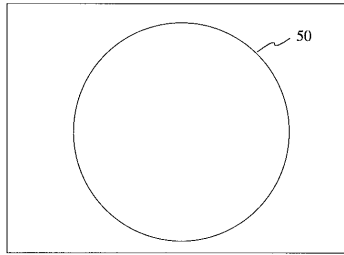
【図 6】



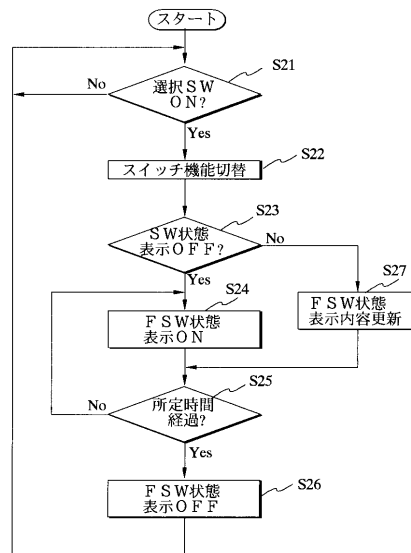
【図 7】



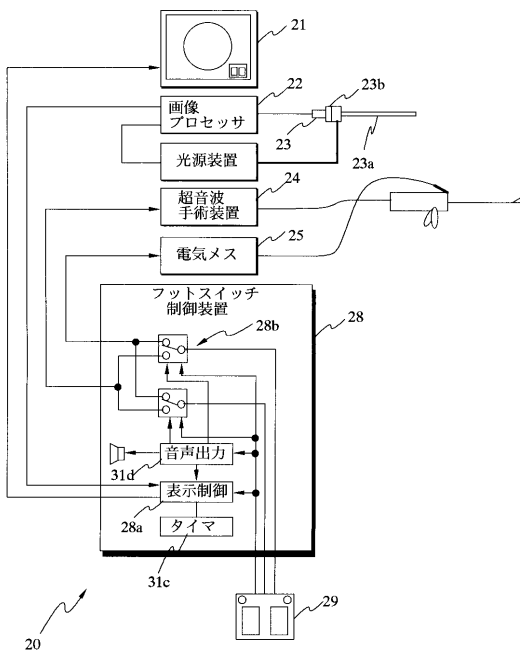
【図 8】



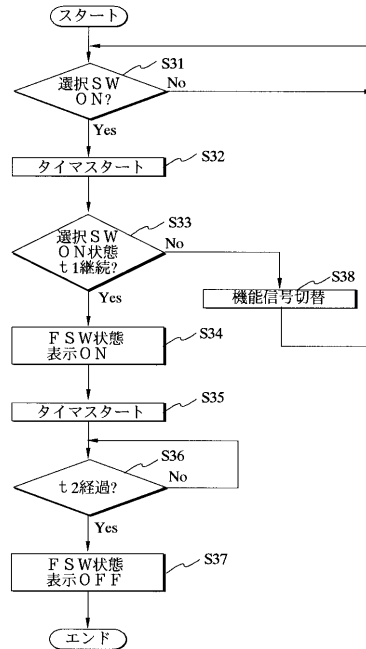
【図 9】



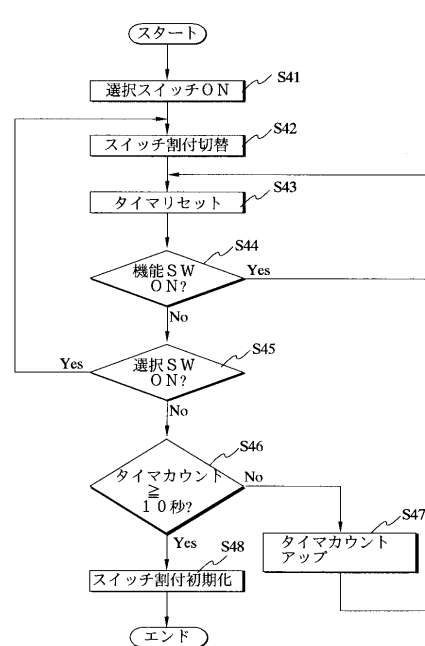
【図 11】



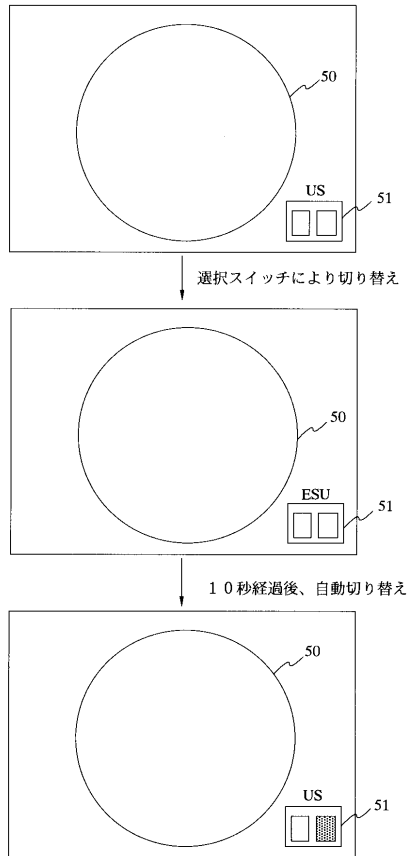
【図 10】



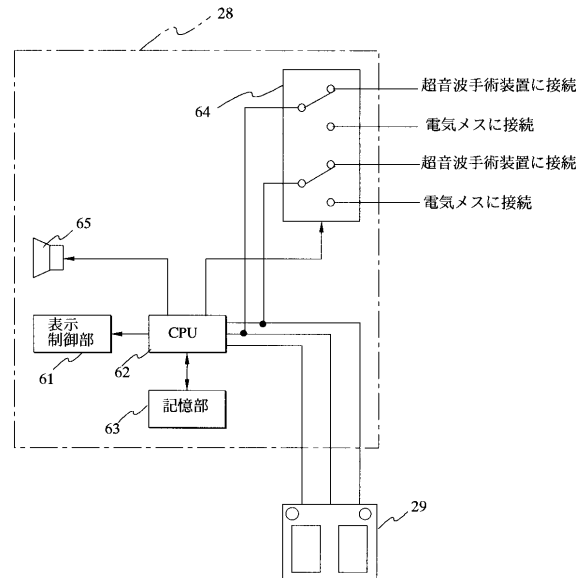
【図 12】



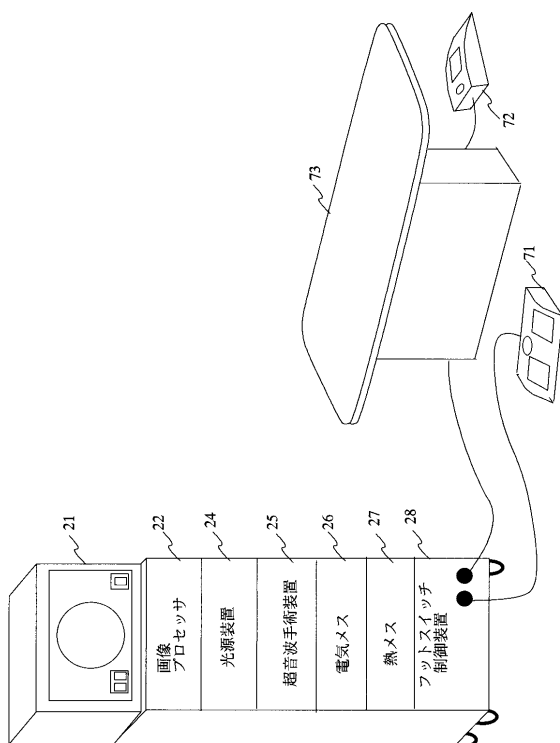
【図 13】



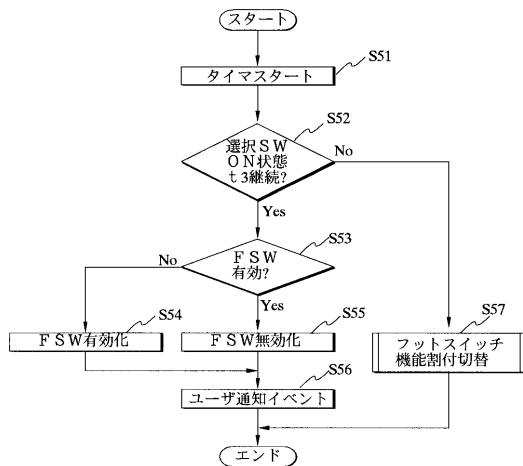
【図 14】



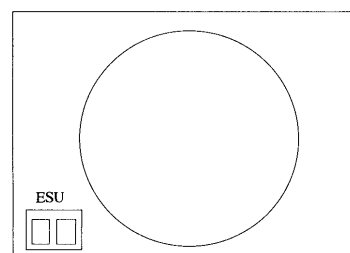
【図 15】



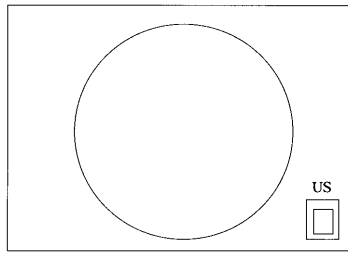
【図 16】



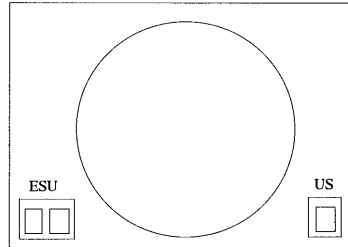
【図 17】



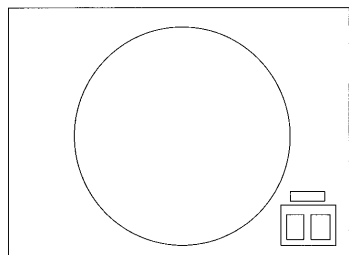
【図 18】



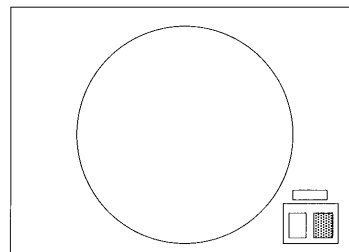
【図 19】



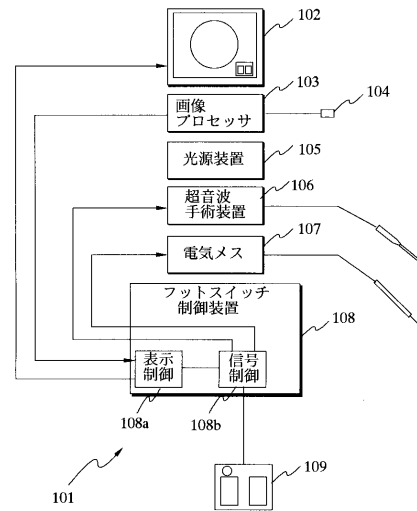
【図 22】



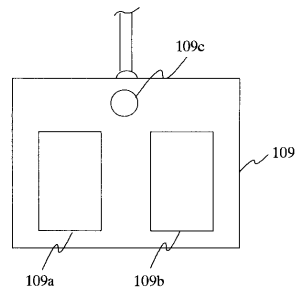
【図 23】



【図 20】



【図 21】



フロントページの続き

Fターム(参考) 4C061 CC06 HH56 JJ17 NN05 WW10 WW13 WW14